



加 監 発 第 4 8 号
令 和 5 年 3 月 9 日

加 須 市 長 角 田 守 良 様
加 須 市 議 会 議 長 栗 原 肇 様
加 須 市 教 育 委 員 会 教 育 長 小 野 田 誠 様

加 須 市 監 査 委 員 秋 本 政 信

加 須 市 監 査 委 員 田 中 良 夫

令和4年度定期監査の結果（学校監査）について（報告）

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、及び加須市監査基準に準拠し、定期監査を執行したので、同条第9項の規定により、その結果を別添のとおり報告します。

令和4年度学校定期監査結果報告書

第1 加須市監査基準に準拠している旨

監査委員は、加須市監査基準（令和2年加須市監査委員告示第4号）に準拠して監査を行った。

第2 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査

第3 監査の対象学校

- (1) 大桑小学校
- (2) 水深小学校
- (3) 樋遣川小学校
- (4) 志多見小学校
- (5) 騎西小学校
- (6) 北川辺西小学校
- (7) 加須西中学校
- (8) 大利根中学校

第4 監査の着眼点（評価項目）

市立の小学校及び中学校の事務に関して関係法令が遵守されているか、また、備品の管理やその他校長の権限に係る財務等に関する学校事務の執行が適正かつ効率的に行われているかに主眼を置き、監査を実施した。

第5 監査の期間

令和4年12月26日～令和5年3月9日

第6 監査の実施内容

令和4年度（1学期及び2学期）の学校経営状況や主要業務等に関する事務の執行状況等について必要な資料及び関係書類の提出を求め、監査委員が各学校を訪問し、関係職員からの説明を聴取するとともに、学校施設の現況を確認した。

第7 監査の結果

学校経営状況や財務等に関する学校事務の執行については、おおむね適正かつ効率的に運営されていることを確認した。

なお、本監査における学校の状況及び主な意見は次のとおりである。

1 総括的事項

学校経営に係る事業の管理については、各学校とも、加須市人づくり宣言をはじめ加須市人づくりプラン等を念頭に、学校規模、校風や児童・生徒、地域の実情等を把握された上で目指すべき学校像を定め、それらの実現に向けて各種取組事項を掲げた学校グランドデザインを明確に定めていた。

その経営・運営に当たっては、校長のリーダーシップの下、教職員間の情報の共有化が図られており、また、保護者や学校評議員をはじめ連携している地域の方々に対しても、共通理解を図りながら行われている。

なお、全体の学校経営・運営状況及び個別的事項は、次のとおりである。

2 学校経営・運営状況について

(1) 組織について

校長・教頭を中心とした教職員の役割分担が明確に定められ、それに基づいた業務が行われており、責任体制も確立されている。

また、教職員の異動や新任教員の割合が高く、在校年数の短い学校もあるが、日ごろから教職員間の情報の共有化が図られるなど組織体制の強化に取り組まれている。

さらに、コロナ禍においても、常に児童・生徒の立場を第一に考え、新型コロナウイルスに感染させない中で思い出に残るイベント等の実施に可能な限り努められている。

教職員の平均在校時間について、特に中学校では部活動の指導もあることから長くなる傾向が見られたが、部活動の朝練習を廃止するなど、改善に向けた取り組みが行われていた。また、年度当初は新年度の準備作業等のため、特に主幹教諭や教頭の在校時間が長くなる傾向が見受けられた。

今回訪問した全ての学校で、パソコンとＩＣカードを利用した教職員の在校時間管理を行っていた。今後も適切に在校時間の管理を行うとともに、教職員の長時間勤務の改善に向け取り組まれない。

また、教育委員会も、各学校から提出された勤務状況の資料等を活用し、市内全体の勤務時間の傾向等の情報提供を行いながら、超過勤務の削減に向けた各学校への指導を行うなど、働き方改革の推進に努められたい。

(2) コロナ対策・欠席状況について

コロナ対策について市教育委員会と連携を図り、また、各学校においても徹底的にコロナ対策を実施していたが、今年度は陽性となる人数が多かったとのこと。また、家庭内での感染比率も高くなっていたとのことであった。

なお、児童・生徒の長期欠席等の状況について、コロナ禍以前と比較して大きな変化は見られないが、一部では家庭の協力がなかなか得られない状況もあるとのことであった。

長期的な対応が必要となるが、家庭との信頼関係の構築及び家庭教育に努め、児童・生徒の学校への復帰についての取組みを進められたい。

(3) GIGAスクール構想への対応について

令和3年度から本格稼働し、2年度目となったこともあり、教職員全体の技能が向上してきているのが伺えた。

また、各種アンケートを実施する際にタブレット端末等を利用して行うことで、集計等が効率的に行え、業務改善につながっているとの話も聞くことができた。

なお、多くの学校でタブレット端末の持ち帰りを実施し、家庭学習や宿題等に活用しているとともに、新型コロナウイルス陽性となった児童・生徒に対してタブレット端末を活用したオンラインでの授業の実施等がなされていた。

タブレット端末を活用した授業研究や研修の中で、端末の効果的な活用だけではなく、教科書やノートを使った既存の授業効果の見直しなどについても研究を進めていただきたい。

今回の監査において、多くの学年で実際に授業中に使用しているところを視察できたが、タブレット端末を利用した授業の増加、家庭でのゲーム機やスマートフォン等の使用時間の増加などもあるため、学期ごとに視力検査を行うなど、児童・生徒の視力の低下については注視していただきたい。

※GIGAスクール構想：1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、学校教育の良さと最先端のICT技術により、子どもたちの能力を最大限に伸ばすことを目的とした取組。

Global and Innovation Gateway for Allの頭文字をとっている。

(4) 地域との連携について

学校応援団活動について、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、その活動に制限がみられたが、登下校の見守りなど児童・生徒の安全を確保する取組については引き続き全学校で行われていたほか、可能な範囲で体験授業等についても実施をしていた。

各学校とも新型コロナウイルスの影響により、学校応援団の方々と児童・生徒が触れ合う機会が減少しているため、今後、従来以上に交流を図っていただきたい。

なお、今のところ活動に大きな支障はないようだが、学校応援団等の高齢化等により登録人数が減少している学校も見られることから、新たな人材の発掘が望まれるところである。

※学校応援団：学校における学習活動、安心・安全確保、環境整備などについてボランティアとして協力・支援を行う保護者・地域住民による活動組織のことで、平成17年度から埼玉県教育委員会が取

り組み始め、平成28年度には埼玉県内全ての小・中学校で学校応援団が設置されている。

(5) 災害時の対応及び防災対策について

各学校とも災害別の危機管理マニュアルを整備し、様々な災害や不審者を想定した避難訓練が実施されている。今後も、災害時等に児童・生徒の命を守るため、継続的に工夫のある取組を実践されたい。

(6) 予算執行状況（歳出）について

配当された学校管理費については、令和4年12月末時点で55%から70%程度の執行率であった。

なお、各校とも1月の訪問時点では3学期中に予算執行の予定がほぼ決定しているとのことであったが、計画的な執行に努められたい。

(7) その他学校経営において参考となる事項について

ほとんどの学校において、樹木の剪定費が不足しているとの話が聞かれた。低木については学校応援団の協力により対応をしている学校も見られたが、管理の必要な樹木（特に高木）の多い学校では苦慮していた。高木の管理については教育委員会で一括管理を行うこと等も含め、学校と教育委員会でよく確認・協議をし、適切な維持管理に努められたい。

また、教室の照度が不足しているとの話もあったことから、必要な照度が得られているか確認を行い、適切に対応するよう努められたい。

3 各学校の個別的事項について

大桑小学校 児童数478人（学級数15学級+特別支援学級数6学級）

(1) 学校概要等

- ・児童数は478人で、1学年・2学年・4学年は3学級、それ以外は2学級となっている。

(2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席者は0人である。
- ・いじめ認知件数は2学期末時点で21件となっているが、スクールカウンセラーを積極的に活用し、児童だけでなく保護者との面談を実施するなどし、すべて解決済みとなっている。
- ・新型コロナ陽性者は2学期末時点で108名（児童及び教職員）となっている。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・すべての教育活動で積極的に活用を行い、高学年を中心に毎日持ち帰りを実施して

いる。

- ・担任とICTサポーターによるTT（チームティーチング）を月2回実施している。
- ・ICTサポーターによるスキルアップ研修や、教職員同士での自主研修を実施し、活用方法の幅を広げるよう取り組んでいる。
- ・タブレット端末の破損が多いため、常時台数不足となっている。

（4）地域との連携について

- ・ふれあい推進長3人、学校応援団61人となっている。
- ・登下校時の見守りに加え、読み聞かせやクラブ活動の指導などの実施をしていた。

（5）災害時の対応等について

- ・年3回の避難訓練を実施したが、引き渡し訓練は感染症対策のため、メール配信のみの実施となっていた。

（6）予算執行状況について

- ・配当された予算については概ね計画的に執行している。
- ・西校庭については樹木が多く、予算（187,000円）のみでは剪定が間に合わない状況となっている。また、落ち葉等で近隣から苦情もあるとのことであった。

水深小学校 児童数629人（学級数18学級+特別支援学級数5学級）

（1）学校概要等

- ・加須市内で一番大きな規模の小学校（北埼玉でも最大）で、児童数は629人となっている（約10年間で3倍の規模になった。）。
- ・全学年各3学級となっているが、6年生は40人の学級もあり多少密状態となっている。

（2）コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席児童は8人（不登校2人、病気4人、家庭の理由2人）となっているが、電話や必要に応じて家庭訪問などを積極的に行うなど、継続した支援を行っている。また、スクールカウンセラーを活用して、保護者や児童との面談を積極的に行っている。
- ・コロナ感染不安による欠席者は2人（数日のみ）であった。
- ・いじめ認知件数は0件であった。

（3）GIGAスクールの運用状況について

- ・体育、家庭科、図工など技術的な学習において、写真や動画機能を利用して技術の

向上に活用している。

- ・授業で効果的に使うポイントの事例や具体例が情報担当から適宜情報提供され、全職員の取り組みが向上している。
- ・欠席者への積極的なオンライン活用により、学びの保障・継続を図っている。

(4) 地域との連携について

- ・ふれあい推進長6人、学校応援団79人のほか、「親児の会」による支援も多く受けている。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていた学習支援はできなかったが、米づくりにおいては、田植え・稲刈りを実施することができた。
- ・十数年継続して活動してくれている方も多く、高齢化や引継ぎについてが課題となってきた。

(5) 災害時の対応等について

- ・各種訓練を実施しているが、経験年数の少ない職員が増加し、マニュアル通りにいかない時の柔軟な対応について、職員の育成が必要となっている。

(6) 予算執行状況について

- ・配当された予算について、計画的に執行している。

樋遣川小学校 児童数99人（学級数6学級+特別支援学級数2学級）

(1) 学校概要等

- ・児童数は99人で、4年生以下は15人以下の小規模校（市内で3番目に規模の小さい小学校）となっている。

(2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席児童は1人（病気）となっている。
- ・いじめ等による欠席は1人あったが、2学期からは登校を行い、11月からは教室に戻れたとのことであった。
今後も日常の児童観察や定期的なアンケート調査、スクールカウンセラーとの連携を継続し、早期の発見及び対応に取り組んでもらいたい。
- ・感染症不安による欠席者は0人であった。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・タブレット端末の導入により、学習意欲や興味関心を高める授業の実施ができている。

- ・ICTサポーターによる支援により学習時の端末活用方法が充実してきている。また、ICTサポーターによる職員研修を実施し、端末の効果的な活用方法の幅を広げるよう取り組んでいる。

(4) 地域との連携について

- ・ふれあい推進長5人、学校応援団の登録は170人程度となっているが、登録されている方が高齢となってきており、次年度以降の継続についての調査や、新規登録者の発掘が課題となっている。
- ・体験学習として、田植え・稲刈り・縄跳びを5年生で実施し、三世代交流として昔遊びを1・2年生で実施していた。

(5) 災害時の対応等について

- ・各種訓練を実施している。
- ・引き渡し訓練を避難訓練後に計画することで、保護者にも防災啓発となり、雷雨等でお迎えをお願いする場合でも混乱なく実施できている。

(6) 予算執行状況について

- ・配当された予算について、計画的に執行している。
- ・他予算との調整も必要となるため、整枝剪定予算の確保が難しい状況である。
- ・学校敷地内にある慰霊碑について、管理者を調査し安全管理に努めてください。

志多見小学校 児童数119人（学級数6学級+特別支援学級数1学級）

(1) 学校概要等

- ・児童数は119人で、全学年1学級の小規模校となっている。

(2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席児童は0人である。
- ・いじめ認知件数は1件あったが、解決済みであった。
- ・新型コロナ陽性者は2学期末時点で17人となっている。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・始業式や終業式、児童集会をオンラインで開催するほか、出席停止となった児童にオンライン授業を提供している。
- ・電源アダプタが2月中旬に配備されることから、日常的なタブレット端末の持ち帰りを行い、家庭学習や宿題等で効果的に活用できるようにしていく予定とのこと。
- ・タブレット端末を利用した学力状況テスト等の実施に合わせて、メグビット（文部科

学省のC B Tシステム) の操作方法や入力方法について児童に指導を行っている。

(4) 地域との連携について

- ・ふれあい推進長5人、学校応援団59人となっている。
- ・年間を通して登下校時の安全指導や見守り、声掛けを実施しているほか、農業体験や昔の生活体験、読み聞かせ等の支援を行ってもらっていた。

(5) 災害時の対応等について

- ・各種訓練を実施している。
- ・訓練を重ねることで、「自分の命は自分で守る」意識と行動が定着してきているとのことであった。

(6) 予算執行状況について

- ・配当された予算について、概ね計画的に執行している。
- ・校内の樹木が多く、また高さのある樹木があり、配当の予算だけでは剪定をしきれない状況とのことであった。

騎西小学校 児童数239人(学級数9学級+特別支援学級数2学級)

(1) 学校概要等

- ・児童数は239人で、1学年・4学年・6学年は2学級、それ以外は1学級となっている。

(2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・いじめによる長期欠席児童は0人である。
- ・新型コロナ関連による出席停止日数は、令和3年度に比べて2学期末時点で約4倍と多くなっている。
- ・出席停止や学級・学年閉鎖時にオンライン授業の提供を行い、陽性判明の児童宅には担任がタブレット端末を届けることで学習機会の確保を行ったが、対象となる児童数が多く、やはり負担は大きかったとのこと。

(3) G I G Aスクールの運用状況について

- ・全学年で常時的にタブレット端末を活用するとともに、タブレット端末の持ち帰りを行い、家庭学習で使用している。
- ・全国、県の学力学習状況調査のオンライン化を見据えて、児童が学習の成果を十分発揮できるよう、児童にタブレット端末の操作に慣れさせるようにしている。
- ・学力向上に効果的なI C Tの利活用の仕方をさらに研修する必要がある。

(4) 地域との連携について

- ・学校応援団52人となっている。
- ・コロナ禍ではあるが、毎日の登下校の安全見守りや授業の補助、樹木の剪定など、可能な限り活動してもらっている。
- ・学校応援団の高齢化が進んでおり、世代交代をしながら持続可能な形で学校応援団の活動を進めていくことが課題となっている。

(5) 災害時の対応等について

- ・各種訓練を実施するなかで、児童が災害を身近に感じ、防災意識を高めることができた。
- ・地域の避難訓練に取り組むことで、災害時の市との連携について理解を深めることができた。関係機関や地域との共通理解事項について、さらに確認を行いながら、広域避難所としての役割にもしっかりと備えていただきたい。

(6) 予算執行状況について

- ・配当された予算については計画的に執行している。
- ・修繕箇所が多く、配当されている予算では不足をしている。特に照明器具などは、経過年数によりまとめて交換が必要になってきている。
- ・新型コロナ対策補助金で購入している消毒液等の消耗品は、今後予算が無くなった場合に、継続的な確保が難しくなるのではないかと不安がある。

北川辺西小学校 児童数178人（学級数6学級+特別支援学級数2学級）

(1) 学校概要等

- ・児童数は178人で、全学年1学級となっている。

(2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席児童は1人となっている。
- ・コロナ感染不安による欠席者は1人となっている。
- ・長期欠席児童には、担任が家庭訪問をするなどし、連続した欠席を防ぐようにしている。
- ・コロナ等で欠席が続く場合には、タブレット端末を活用したオンライン授業でも対応を行っている。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・低学年では週2～3回の活用となっているが、3年生以上は、ほぼ毎日タブレット

端末の活用をしている。

- ・ICT推進校として、授業での活用のほか、日常的に持ち帰りを実施し、家庭学習でも活用するなど、常に活用できるよう積極的に推進を行っている。
- ・学習理解を促すより効果的な活用方法を検討していくことが大切である。

(4) 地域との連携について

- ・ふれあい推進長1人、学校応援団37人となっている。
- ・児童の登下校の見守りのほか、学校ファームの世話や職業体験活動（西っ子プロフェッショナル体験）の支援と協力をしてもらっている。
- ・コロナ禍のため多くの人が集まる機会を設けることができず、「感謝の会」等、児童が感謝を伝える場が設けられなかった。

(5) 災害時の対応等について

- ・各種訓練を実施している。
- ・北川辺地域は水害の際に特に配慮が必要であるため、水害に対する避難訓練を通して保護者と共に考える機会となった。

(6) 予算執行状況について

- ・配当された予算について、概ね計画的に執行している。
- ・樹高のある校庭のケヤキやクスノキの枝葉が伸び、落ち葉が雨どい等を塞ぐこともあり、近隣住民から苦情が出ているとのことであった。
- ・高所窓清掃委託について、高所作業車の借上加算は隔年で配当されるため、毎年清掃できない箇所も生じ、汚れが落ちにくくなると業者からの話も出ている。

加須西中学校 生徒数359人（学級数10学級+特別支援学級数2学級）

(1) 学校概要等

- ・生徒数は359人で、3学年は4学級、それ以外は3学級となっている。

(2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席者は16人（1年4人、2年3人、3年9人）となっている。
- ・生徒指導委員会や教育相談委員会を定期的に行い、短期目標を設定し実践をすることで、不登校や長期欠席生徒の生活改善等を行っている。
- ・小中一貫教育推進事業において、中学校教員による小学校への出前授業を行う等の連携を図ることで、中1ギャップの解消を図っている。

(3) G I G Aスクールの運用状況について

- ・一人一台端末の活用に向けて、教職員の校内研修を行い、教科会等で検討を行っている。
- ・端末の持ち帰り等について、校区の小学校と連携を図って取り組んでいる。
- ・出席停止の生徒等には、オンライン(応答機能は不使用)で授業に参加させている。
- ・アンケート等をタブレット端末で実施することで、集計等の時間が短縮され、業務改善につながっている。
- ・端末の故障や充電不足により、授業に支障をきたす場合がある。
- ・体育館や特別教室でも端末が利用(Wi-Fi)できると、さらに効果的な指導が行えるのではないか。

(4) 地域との連携について

- ・学校評議員会や学校応援団との連絡会などを開催し、より良い学校づくりのために異なる視点での意見をもらい、教育活動を見直している。
- ・児童養護施設との連絡会を年2回実施している。

(5) 災害時の対応等について

- ・災害における避難訓練を行うとともに、市担当者とともに防災倉庫の備品点検等を実施している。

(6) 予算執行状況について

- ・配当予算については計画的に執行している。
- ・校内の樹木が非常に多く、学校配当予算のみでは剪定が追い付かない状況となっている。また、砂丘と松林が学校の南側にあり、その管理についても苦慮しているとのことであった。
- ・校舎や設備の老朽化が進んでおり、要修繕箇所が多くなってきている。特に、照度の不足している教室や、なかなか消えない黒板、体育館の床のささくれ等について、できるだけ早い対応が必要となっている。

大利根中学校 生徒数 3 1 9 人 (学級数 9 学級+特別支援学級数 2 学級)

(1) 学校概要等

- ・生徒数は 3 1 9 人で各学年 3 クラスとなっている。
元和小学校の生徒が増加しており、しばらくは 3 学級を維持できる見込みである。
- ・ケサラの合唱等、生徒会活動を大切にしている。

(2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席者は21人（1年6人、2年2人、3年13人）となっている。
病気の診断書が出ている生徒の割合が高くなっている。
- ・教育相談委員会の充実やスクールカウンセラー・さわやか相談員との連携、保護者との連携を図りながら、一人でも多くの生徒に登校意欲をもたせていくようにしている。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・タブレット端末の活用については日常的になってきている。
- ・使用回数ではなく、いかに効果的な活用が図れるかを重視して、タブレット端末の活用を行っている。
- ・タブレット端末の持ち帰りが実現したことから、新たな連絡手段としての活用も期待している。
- ・校務用パソコンとのデータのやりとりやプリントアウトの不便さについて改善の必要を感じている。

(4) 地域との連携について

- ・ふれあい推進長のほか、ふれあいボランティア・学習支援ボランティア・部活動ボランティア・環境整備ボランティアの4つの組織で活動をしてもらっている。
- ・学習指導ボランティアによる読み聞かせを、11月に全学年で実施した。
- ・部活動ボランティアについては、年間を通して部活動（野球、サッカー、卓球、女子バスケ）の支援をしてもらっている。

(5) 災害時の対応等について

- ・各種避難訓練を実施しているが、今年度は水害時を想定した避難訓練として直上避難を初めて行った。

(6) 予算執行状況について

- ・配当予算については計画的に執行している。
- ・学校設立当初の規格の照明機器もあり、故障による交換なども必要になってきている。
- ・生徒昇降口前の樹木が伸びてきており、剪定を進めなければ高所作業車が進入することが難しくなるため、教育委員会と調整をしながら剪定を進めていきたい。